

kintone 全銀フォーマット出力ツール

オンプレミス終了を見据え、必要機能に絞った専用システムを構築 全銀データ出力業務の継続性確保とコスト最適化を実現

在職員の役員手当に関するFBデータを、今後も安定して出力できる仕組みを整えたい。

電気通信分野の労働者で構成されるN労働組合様は、このような狙いで専用データ出力システムを導入しました。

従来業務に必要な機能を過不足なく備えることで、サポート終了への不安を解消し、安定運用を実現しています。さらに、用途を絞った構成によりコストを抑えつつ、業務継続性と効率化を両立しました。

課題

費用対効果の高い移行先を選びたい

FBデータ出力業務を継続したい

必要機能に絞った構築で導入コストを最適化！

全銀フォーマット出力を安定してクラウド化！

効果

背景と課題

サポート終了を見据えた 業務基盤見直し

これまで在職員の役員手当に関するFBデータの出力については、オンプレミス型の奉行システムを利用して対応しておりました。

しかし、オンプレミス型奉行システムのサポート終了が予定されており、このまま現行環境を使い続けることが難しくなる見込みでした。今後も安定して業務を継続していくためには、新たな仕組みの整備が必要だと感じておりました。

後継としてクラウド型奉行への移行も検討いたしました。主な利用用途がFBデータ出力に限られている中で、ライセンス費用が大幅に増加する見込みであり、費用対効果の面で導入判断が難しい状況でした。必要な機能はしっかり押さえつつも、過剰なコスト負担は避けたいというのが、当時の大きな悩みでした。

選定と導入

必要十分な機能とコストの両立

今回の見直しにあたっては、既存パッケージへそのまま移行するのではなく、私たちの業務に本当に必要な機能だけを、無理なく実現できる方法を重視しておりました。

その中でご提案いただいたのが、kintoneを活用した専用システムの構築です。kintoneであれば、必要な機能に絞って柔軟に仕組みを作ることができ、今の業務に合わせた運用がしやすい点に魅力を感じました。

また、既製品に業務を合わせるのではなく、現場の実運用に合わせて構築できることや、将来的な見直しにも対応しやすい点も安心材料でした。コスト面と実用性のバランスが良く、私たちにあって現実的な選択だと感じ、導入を決めました。

実際の構築では、全銀フォーマット出力アプリと全銀フォーマットマスターアプリを作成いただき、kintone上のデータを全銀フォーマットに集約・変換したうえで、txtファイルとして出力できる仕組みを整備していただきました。

成果と今後

業務継続性確保と運用負担軽減

今回の導入によって、オンプレミス環境のサポート終了に備えながら、これまで行ってきたFBデータ出力業務を継続できる見通しが立ちました。必要な機能に絞って構築したことで、費用を抑えつつ、実務に合ったシステムを導入できた点は大きな成果だと感じております。

また、kintone上で必要なデータを管理し、全銀フォーマットとして出力できるようになったことで、今後の運用もよりシンプルで分かりやすくなることを期待しております。

今後は、まず安定運用を進めながら、必要に応じて周辺業務の見直しや活用範囲の拡大も検討していきたいと考えております。